

町政を問う

若者定住に積極的な定住対策を!!



幸本 元

若者の定住対策の実現に向けて!! 町長 環境整備は、進めている

若者の定住対策について

幸本 町が元気になり活性化する為、具体的な定住対策が必要と考えるが、定住環境整備は進められているのか伺う。

町長 誰も住みたい所に住む。現在住んでいる人が住み良い町にする施策を継続する。

幸本 県の事業で若者定住策による集落活性化総合対策事業の本町での取り組み状況を伺う。

町長 集落からの声を待っている。ニーズの中で取り組む。

幸本 移住者に年間二百五十万円を三年間の予算は、環境整備にも手厚い支援である。活用は、行政の働きかけも重要である。

町長 各地域に担当者が配属してあり、相談を受け付ける。

幸本 定住施策の一環として、町営住宅団地の分譲を積極的に推進することあるが取り組み状況を伺う。

町長 販売がなかなか進まない為、内部的な改正と生活スタイルを整えた人へも販売促進する。

幸本 鳥取県内移住思考が調査によってあることがわかっていて。本町もPR宣伝の情報発信を強化し、伯耆町が活性化するように、総合計画に基づいた取り組みをお願いしたい。

青少年健全育成を

幸本 青少年健全育成については、新たに家庭教

育の支援や協力が必要とされる。取り組み状況を伺う。

教育長 家庭の教育力の低下が指摘されている。

家庭の安定、教育力の高さが家庭の力であり、社会的マナー、自立心など育てることがたくさんある。子育て講座など親としての学びの機会を確保し、子供の成長段階の縦のつながりで、相談体制を充実して支援して行く。

幸本 子供の成長と共に親も育って行く。親としての必要な学びの機会が減っている。今後も社会教育主事の積極的な活動で、学びの機会を提供して頂きたい。

教育長 これからの部分が大変。それぞれの学ばべきことを連携しながら、体制作りを進めて行

く。
幸本 新たな家庭教育の支援や協力の取り組みに期待する。



体験学習-食事指導